

九州地方の火山活動解説資料（平成 14 年 9 月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

九州地方の火山



：桜島

桜島南岳は、噴火が 5 回で前月に続き比較的静穏でした。

：諏訪之瀬島

火山活動はやや活発でした。

中旬から下旬にかけ爆発的噴火を 15 回観測しました。また、1,000m に達する火山灰混じりの噴煙も確認されました。

：阿蘇山

火山活動はやや活発でした。

中岳第一火口の南側火口壁下の温度は依然として高い状態で、火口内は全面湯だまりが続いています。

孤立型微動が 5 日から増加し、8 日の 270 回をピークに減少しました。孤立型微動の

増加に伴う表面現象は観測されませんでした。

：霧島山

新燃岳、御鉢の火山活動は比較的静穏でした。

：九重山、雲仙岳、薩摩硫黄島、口永良部島

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態が続きました。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
諏訪之瀬島	火山観測情報 14 号	13 日 12 時 00 分	噴火活動活発
〃	火山観測情報 15 号	17 日 11 時 40 分	火山活動低下

次回の火山活動解説資料の公表は 11 月 8 日(金)の予定です。